



大出区安全安心なまちづくり

推進協議会だより



令和2年8月 第20号

大出地区防災計画の策定とコロナ対策

近年、全国各地で人々の生活を脅かす自然災害が頻発するとともに、人々の生命に直結する新型コロナウイルスが蔓延し身近な脅威となっております。対策として新しい生活様式が求められていますが、防疫も防災もできることを継続して行うことが重用です。

大出地区防災計画の要点とコロナ対策についてお伝えいたします。

○ 大出地区防災計画について

阪神淡路大震災、東日本大震災を踏まえて平成25年6月に災害対策基本法が改正され、市町村の一定の地区居住者等による自発的な防災活動に関する「地区防災計画制度」が創設されましたので、大出区は箕輪町防災会議に対し地区防災計画を定めることを提案して参ります。前年度から地区防災計画の策定を課題としてきましたが、この度8月2日の大出区拡大自主防災組織委員会に策定した大出地区防災計画案と区内全戸配布予定のA3版要点を報告しました。

内容は

- ◆ 昨年10月の台風19号被害を教訓とした災害対応
 - ◆ 避難種別と5段階の警戒レベル
 - ◆ 大出区における避難計画
- 等を分かりやすく掲載しています。



【区会での地区防災計画協議風景】

○ コロナ対策

三密をさけることとマスク・手指の消毒が基本です。

治療薬とワクチンの開発は進んでいますが、我々にできることは限られています。自分の命を守るため蔓延に気を引き締めて基本行動を！

そしてコロナウィルスが広がるにつれて間違った情報やうわさが広がります。

「信頼できる正確な情報を伝えることがコミュニティを守るカギ」であることを肝に銘じて安全安心なまちづくりに努めましょう。